日本商工会議所
The Japan Chamber of Commerce and Industry

商工会議所LOBO（早期景気観測）
－2012年11月調査結果（概要版・付帯調査）－

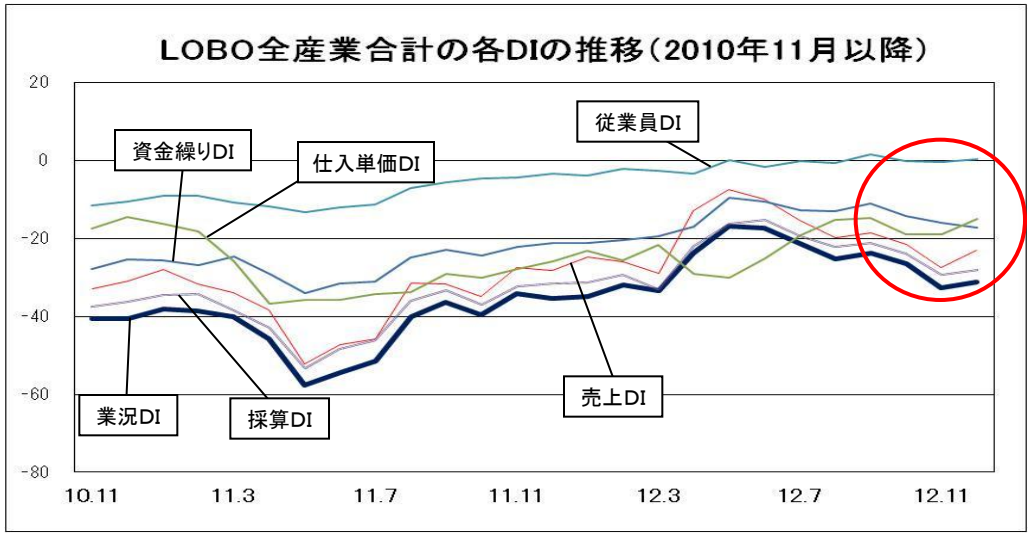
2012年11月30日

業況DIは、ほぼ横ばいで推移。先行き不安は根強い

ポイント

▸１１月の全産業合計の業況ＤＩは、▲３１．１と、前月から＋１．５ポイントの小幅改善。**公共工事・住宅に動きのあった建設業や、冬物商品・ギフト関連が好調だった小売業がけん引。一方、製造業では中国経済の減速に加え、日中関係悪化に伴い、低迷が続いている**

▸先行きについては、先行き見通しＤＩが▲３３．１（今月比▲２．０ポイント）と、悪化する見込み。このところの円安・株高傾向は好材料であるものの、**中国経済の減速や日中関係悪化の長期化に伴う影響に加え、円高の定着、電力料金の値上げ、個人消費の減退など、中小企業を取り巻く厳しい状況が続く見込みであることから、先行きに対する不安は根強い**



日中関係の悪化による影響

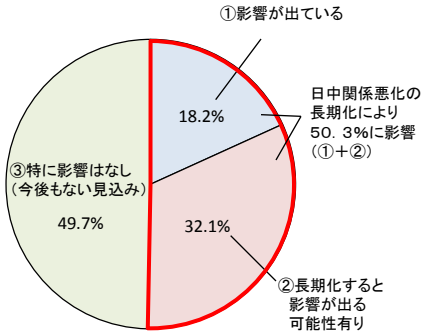
▸日中関係の悪化により、日本製品の不買運動に伴う輸出の低迷やこれに伴う減産、中国人観光客の減少による売上の落ち込みなど、経営に**「影響が出ている」**とする企業（全産業）は１８．２％（①）（製造業は２９．０％）

▸**「長期化すると影響が出る可能性有り」**とする企業（全産業）は３２．１％（②）と、日中関係悪化の長期化により半数を超える企業に影響が及ぶ見込み（５０．３％：①＋②）

▸具体的な影響は、「日本製品の不買運動による販売不振」が２５．５％と最も多く、次いで「中国から日本への輸入の停滞・停止」が２４．１％、「イベントの中止や延期、中国人観光客の急減に伴う飲食宿泊・物販等の売上低下」が２０．６％（いずれも全産業）

◆日中関係の悪化による影響

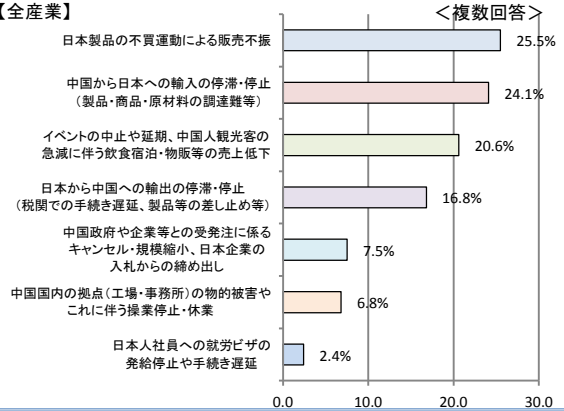
【全産業】



◆具体的な影響

（「①影響が出ている、②影響が出る可能性有り」とした企業が回答）

【全産業】



［中小企業の声］

▸中国人客の別荘を日本に建築する予定だが、日中関係の悪化により契約が延期になる可能性（札幌　建築工事業）

▸中国での日本製品不買運動が長期化すると、取引先の国内生産が縮小され、自社の受注減となることが懸念される（札幌　作業着等小売業）

▸日中関係の悪化が長期化することで、中国からの観光のトップシーズンである旧正月（来年２月）に悪影響が及ぶことを懸念（札幌　旅行業）

▸大手自動車メーカーの中国向けの輸出減少により、国内の物流も減少（前橋　運送業）

▸日本製品の不買運動の影響で、中国に生産拠点のある日系自動車メーカーからの部品発注が大幅に減少している（名古屋　自動車部品製造業）

▸日本製品の販売不振に伴う国内の自動車減産により、受注が減少傾向にある（刈谷　警備業）

▸今回の日中関係の悪化による状況や影響から、上海に店舗展開のために設置した現地法人を解散した（福山　アパレル製造業）

▸中国人観光客の減少により土産品の売上が落ち込んでいる（鹿児島　百貨店）